

荻窪法人会会報

2004 OGIKUBOHOJINKAI KAIHO

ホームページのURLが変わりました
<http://www.ogikubohojinkai.jp/>



荻窪に住んでいた偉人たち

138

CONTENTS

目次

- 3 今年度はうれしい事が3つあった
第31回通常総会
水島隆年 荻窪法人会会長
齋藤淑人 荻窪税務署長
- 6 100回の講演を超えた田中氏と
魅力ある講演が定評の梅津修氏を迎えてのインタビュー
インタビュー特別企画
梅津 修 法人課税第1部門統括官
田中正明 法人課税第1部門審理上席調査官
- 10 各企業の正当な発展に寄与する活発な組織
源泉部会定期総会30周年記念
保坂房雄 源泉部会長
水島隆年 荻窪法人会会長
齋藤淑人 荻窪税務署長
- 12 若い人がもっと参加して欲しい
源泉部会座談会
- 18 **着任とお別れのごあいさつ**
- 21 [特別企画]「無形財産」反映した企業価値
ISOって何?
- 22 **支部長訪問**
榊原 昭 第17支部長
塚本忠光 第18支部長
- 24 **連載企画 インターネットの利用法**
上田仁士 広報副委員長
- 26 **税務コーナー**
- 28 **委員会・部会報告**
研修委員会
源泉部会
青年部会
女性部会
ブロックだよ!
- 31 **会員アートギャラリー**



[与謝野晶子・鉄幹]

1873年(明治6年)与謝野寛(鉄幹) 京都市郊外岡崎村願成寺に生まれる。

1878年(明治11年)晶子 堺区堺区(現 大阪府堺市甲斐町)菓子商駿河屋に生まれる。

1900年(明治33年)文学美術雑誌「明星」が全国的に若者の支持を得、浪漫主義の思潮が確立。

「明星」2号に短歌六首を発表。

1901年(明治34年)寛・晶子結婚。歌集『みだれ髪』を刊行。「帝国文学」に『みだれ髪』評が出る。

1927年(昭和2年)東京府豊多摩郡井荻村字下荻窪(現 杉並区荻窪2丁目119番地)に於て家を建てる。遑青書屋・采花荘と命名。

1933年(昭和8年)2月、鉄幹の60歳を祝して東京日本橋高島屋で「寛・晶子著作展」開催。9月、改造社より「与謝野晶子全集」刊行開始。

1935年(昭和10年)3月26日、鉄幹 急性肺炎を併発して死去。5月、『与謝野寛遺稿集』刊行。

1942年(昭和17年)5月29日、晶子 永眠。多磨墓地に埋葬。9月、平野万里編輯の遺詠集『白桜集』刊行。

社団法人荻窪法人会 第31回通常総会

今年度はうれしい事が3つあった。加入率が東法連で第3位、代表して表彰されること。ガン保険の達成率がトップ。最後は署の田中上席に感謝状を渡せることです、と水島会長があいさつ。

第31回通常総会が5月21日(金)に荻窪タウンセブン8階会議場で行われました。

来賓にはご多忙のなか、齋藤荻窪税務署長をはじめ大野東京杉並税務所長、杉並区小林助役など多くの参列を賜りました。総会は開会のことば、水島会長の挨拶に続き議事録署名人選出の後議事に入り第1号議案から4号議案までが上程され拍手をもって全議案が承認されました。



感謝状、表彰状の贈呈は会員増強に貢献された第3ブロックと9の優秀支部と功労者69名に感謝状、表彰状が水島会長より手渡されました。恒例の優良経理職員も8名の方々が表彰されました。今年度の特筆すべき事項として荻窪税務署法人課税第1部門審理上席調査官の田中正明氏が荻窪法人会での研修会の講師が100回を超えたことでした。3年間に及んで大変有意義な講演を感謝して田中正明氏に感謝状が贈呈されました。来賓19名、会員出席者180名。



会長挨拶



水島隆年 社団法人荻窪法人会会長

会員数の減る中、荻窪法人会は9社増

今日は第31回通常総会に会員の皆様のご出席をいただき、本当にありがとうございます。また今年1年間、各所で活躍をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

今日は、荻窪税務署の齋藤署長をはじめ、幹部の方にご列席をいただきまして、本当にありがとうございます。また、後ほど懇親会でごあいさつ願えると思えますけれども、区、都税事務所、そして関連団体の各会長様、本当に今日はありがとうございます。

私は今日の総会にあたりまして、大変うれしいことが三つございました。これを報告して、あいさつにかえたいと思います。

一つは、今月の25日に東法連の総会がございまして、この間、理事会がありまして、水島会長、東法連全体の会員増強で、代表して水島さんが表彰されますよ。代表してやってください」ということがありました。「何ですか」と聞きましたら、組織率は全法人会の中で3位ですが、今回初めて増加と、減ったほうが多くて、プラスになったのは荻窪法人会が9名と、もう一つは日本橋法人会が1名と、「増員してくれたのは荻窪法人会と日本橋法人会だけです。ですから、ぜひ会員増強の表彰を受けてください」ということで

した。本当に、井口組織委員長をはじめ組織委員の皆様、またブロック長、そして支部長にご努力願った結果が出たということ、大変喜んでおります。

もう一つ、やはり同じようなこと、がん保険の達成率です。がん保険というのは、東法連から今年は大体これくらいやってくださいという指示があり、20周年のキャンペーンで、227%で目的を達していた。これも全法人会の中でトップでございます。25日の東法連の総会にお伺いするときに、本当に鼻が高いなど。本当に、会員の皆様にお礼を申し上げなくてはならないのではないかと思います。

もう一つ、最後でございますけれども、今日は、法人税第1部門の田中審理指導席に感謝状を渡す機会を得られたことです。これは、田中上席が3年間荻窪税務署に勤めている、その間、我々の法人会の研修活動の講師を100回以上やっていたいただきました。ありがとうございます。このことで、我々民間の人間が官庁の人に感謝状を渡す。本当は税務表彰というのには官から民にいただくものとはばかり思っていたのですが、我々から渡せるのかな、これも大変いいことだなと。田中上席には本当に感謝を申し上げます。3年間荻窪にいらっやっして100回



というところ、ちょっと自分の出世がとまったのかなと思って、(笑)「田中さん、いつ……」なんて去年言っていたのですけれども、結果的に、大変ありがとうございます。また、法人会全員の気持ちを田中上席に伝えました。本当は、表彰状だけじゃなくて金一封をいっばいければいいのですが、やはり倫理規定があるので署長がだめだということ、我々の気持ちだけ田中さんに受け取ってもらおうと。本当にありがとうございます。

そういうことで、大変いい1年間を過ごさせていただきました。これも会員の皆様のおかげでございます。

荻窪法人会がますます発展するように、そしてまた皆さんの企業が発展し、そして今日お集まりの皆さんのご健勝をよろしくお願いをしたいということで、簡単ではございますけれども開会のあいさつといたします。

来賓祝辞



齋藤淑人 荻窪税務署長

厳しい社会経済情勢のもと、会員増強運動に成果

祝辞。 本日は、社団法人荻窪法人会の第31回通常総会にお招きいただき、誠にありがとうございました。 荻窪法人会の皆様方には、日頃から税務行政の全般にわたり、深いご理解と多大なるご協力を賜っておりますことに対しまして、本席をおかりしまして厚く御礼申し上げます。

ただいまの総会におきましては、熱心なご審議のもと、平成16年度の事業計画をはじめとする議案のすべてが滞りなく承認されましたことを、まずもってお慶び申し上げます。 また総会の席上、感謝状並びに表彰状の贈呈を受けられました皆様には、まことにおめでとございまして。 皆様のこれまでのご尽力に対しまして深く敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、社団法人荻窪法人会は昭和48年に社団化され、昨年、めでたく社団化30周年を迎えられました。 この間、組織の拡大強化と、公益法人としての事業内容の充実を図ってこられ、会員のニーズに応じた講演会や税法の研修会、更には地域に密着した社会貢献事業など、幅広い活動を積極的に展開されており、私どもにとりまして大変心強く感じている次第であります。

特に昨今の厳しい社会経済情勢の下で、組織基盤のより一層の安定を目指し

て、会員増強運動を強力に展開され、東法連の中で組織率第3位という立派な成果を挙げられました。 今後も魅力ある法人会を目指した事業活動を展開していただき、荻窪法人会が更に発展されることを心から願っております。

ここに水島会長をはじめ、役員並びに会員の皆様方のご尽力とご労苦に対しまして、深甚なる敬意を表する次第であります。

ところで、税務行政を取り巻く環境は大きく変わってきておりますが、このようなかで、納税者たる国民の皆様から負託されている税務行政が、的確に時代の変化に対応していくとともに、国民の皆様方の理解と信頼を得ていくことがますます重要となつてきております。 そのために国税の組織といたしましても、納税者の方々の視点に立った納税サービスの一層の充実を努めているところでござい

ます。 これも、関係民間団体の皆様方の力なくして実現できるものではありません。

こうした状況のもと、荻窪法人会の皆様方には、税務行政のよき理解者としてまた協力者として多大なご支援をいただいておりますことに重ねて感謝を申し上げますとともに、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、社団法人荻窪法人会の

ますますのご発展、並びに本日ご出席の皆様方のご健勝とご事業のご繁栄を心より祈念申し上げます。 私の祝辞とさせていただきます。

今日は、私どものほつ田中に対しまして過分な感謝状をいただきまして、ありがとうございます。 署長としても大変うれしく思っております。 彼は、3年いるといふことは余人をもってかえがたいといふ、両々相まった結果ではないかと。

今後はなお、どこに行つてもこの力を発揮していただけるものと信じております。 ありがとうございます。



特別企画 ^{うめつ} 梅津統括官・田中上席調査官インタビュー

荻窪税務署法人課税第1部門審理上席調査官の田中正明氏が、荻窪法人会で開催する研修会における講師として、100回を超える講演をされました。3年間に及ぶ有意義な講演に対する感謝の気持ちを表し、第31回通常総会の席上、田中氏に感謝状が贈呈されました。100回の講演を超えた田中氏と、やはり魅力ある講演が定評の荻窪税務署法人課税第1統括官・梅津修氏を迎えて、お話をうかがいました。



梅津 修 統括官



田中正明 上席調査官

講演100回達成に感謝の気持ちを込めて

100回以上の講演への感謝を込めて企画した今回の特別インタビューですが、「あのような場所で感謝をいただけるなんて思いませんでした。本当にありがとうございます」と開口一番に両氏からあいさつをいただきました。

「ブック研修会は、皆さん、忙しい間を縫って出席されるわけですから、わざわざ出てきたのに、なんだ」と言われないうちに頑張りつもりです。ですが、正直言っても自分の頭のなかで思い描いているような理想的な研修はなかなかできません」とと遠慮がちに語る田中氏ですが、それを受けて梅津氏は、田中さんの強みは法人税だけでなく、資産課税(相続税)などもよくわかっているところ。頼りがいがあります」と信頼を寄せます。講演に当たって田中氏が最も気をつけていたのは風邪を引かないことだそうですが、緊張もあってか風邪など引かず、一度も講演を休むことはありませんでした。もし風邪を引いてしまったら、そのときは私が行きます(笑)と梅津氏。

講演ではすっかりおなじみになっている梅津氏と田中氏ですが、今号の特別インタビューでは、100回の講演への感謝を込めて、まだ知られていないお人柄や経歴を紹介いたします。



梅津 修 法人課税第1統括官

「税務署は開かれたところ気軽に足を運んでください」

北海道出身の梅津修統括官に税務大学校から東京へ来られたいきさつ、奥様と休日と一緒に過ごされるようになったきっかけなど、さまざまなお話をうかがいました。「参加する人が興味を持つ話を」との要望にすぐに応え、法人会の各種研修会等で魅力ある講演をされるなど、誠実なお人柄が伝わってきます。「遠慮なく税務署に来てほしい」と語る梅津氏ですが、法人会と税務署のコミュニケーションによって、より充実した研修会等の開催が期待されます。

意欲に燃えて

梅津氏のご出身は、雪が多く寒さの厳しい北海道・滝川市。高校卒業後、1年間を民間企業で過ごし、19歳のときに税務大学校札幌研究所に入られました。そこで税務大学校の担当教官から、「おまえは優秀なんだから大学へ行け。東京なら夜間大学もたくさんある」と励ましを受けました。

「当初は北海道に残るということで採用されたんですが、教官の甘い言葉に乗って変更届を出しました。私のときは120人が採用されて、そのうち80人が北海道に残り、40人が東京に来ることになっていたんですが、結果的に北海道には40人しか残りませんでした。だから、私のようにワック変更できた人が40人いたんですね」

勉強に意欲を燃やして上京した梅津氏は、夜間大学に入学しました。東京に赴任した人のほとんどは夜間大学に入つたといいますが、当時は学生運動華やかかりしころ。学校へ行っても休校が多くて、なかなか授業を受けられないという時代でもありました。それでも我慢した人は卒業できたけれども、半年から1年ほどでやめる人も多かったのです。

東京では荻窪税務署の裏にある東京国税局荻窪寮に入り、そこから東京での生活スタートさせました。まず最初に松戸税務署に赴任され、各署を経て

昨年7月、荻窪税務署へ来られました。久しぶりの荻窪ですが、法人会も含めて成熟した大人の会社が多いと感じるそうです。

「昔、よく教会通りにも飲みに行っていましたから、ここは懐かしいという思いが強く。当時は税務職員だということを知られないようにしていましたね。わかってしまったら、その店にはもう行かない(笑)」

休日は夫婦で

「ご家族は奥様と、すでに独立されたお子さんが2人。同じ高校出身で3歳年下の奥様と、22歳の若さで結婚され、24歳の誕生日に最初のお子さんが生まれました。奥様は、誕生日プレゼントは娘とおっしゃったとか。さらに奥様の誕生日は1日違いなので、生まれたのが1日ずれていてもよかったも。

現在は奥様と2人の生活。土・日曜日の休日には朝から食事に出たり、一緒に過ごすことが多いそうです。

「以前は、平日は飲んでいますし、休みといったらパチンコをしていて、ほとんど家にいませんでした」という梅津氏が、50歳を目前にして、このへんで夫婦が仲良くしておかないといけないと感じたのは、税務署のある研修がきっかけでした。

「講師の方が、部下とどのようにつきあうかといった話をされたんですが、そのなかで家庭ではどうか、夫婦の会話がある

かまた、妻から話しかけられたときに相手の目を見て話しているかという問いかけがありました。すると、誰もが、相手を見ずに新聞を読みながら『ぶん』などと答えている。それでは、老後はどうなるんだという内容でした。

おもしろかつたのは、5分間、壁に向かつて話してみようと言った。むなしだろって。奥さんに声をかけられても振り向かないというのは、相手にそういう思いをさせているんだと言われ、なるほどと思いましたが

5年前のその研修のときから、奥様に話しかけられたら必ず振り向いて受け答えをするよう努力されました。そして、週に1回は夫婦一緒に過ごすことにし、お子さんが独立してからは休日には雨が降らないかぎり、2人で出かけるようになったそうです。

「税務署に来てください」

税務署は敷居が高いイメージがありますが、法人会の皆さんには、もっと税務署に来てほしいと言います。

「気取ったところではないので、遠慮せず気軽に足を運んでいただければと思います。そこで世間話をするなかで、その地域の方が何を思い、我々に何を期待しているかを聞ければ、研修会等にも反映できます。私どもが法人会に対して何ができるかというところ、やはり研修会や説明会で

力をお貸しするのが一番いいんじゃないでしょうか」

参加する人が興味を持つような話をしたいとの要望に応え、先の女性部会でも「モア」を交えて、人の心を引きつける講演をしてくださった梅津氏。調査で鍛えた対話が、ここにも生きています。

「私が先輩から教わったのは、調査が終わったあとに、社長さんと握手をして別れるような調査をしないこと。どんな厳しい調査でも、最後に社長さんが『ありがとう』と言って握手をしてくれるようなね。特に若いころは、『自分のような若造が社長さんの方とお話できるのも口の丸を背負っているからだ』と話すと、許してくれるんですよ。そのとき一番大切なのは笑顔ですね」そう笑顔で語る梅津氏。お人柄がにじみ出るインタビューでした。



左より：水島会長、田中上席調査官、齋藤税務署長



田中 正明 法人課税第1部門審理上席調査官



税に精通した上席調査官の仕事を支えるのは愛する家族

信州から東京国税局へ採用され、東京、神奈川の税務署で勤務された田中上席調査官。奥様とお子さんの話になると、温和な笑顔がさらにゆるみます。以前と現在の税務署内部の違い、100回の講演を行うなかでの変化などについてもうかがいました。

次男がゆえに

長野県南佐久郡で生まれ育った田中氏は、高校卒業後、地元の企業に就職する予定でしたが、友人につきあつて受けた税務署の試験に合格。
「私は次男だったので、東京局に採用されたと思います。面接試験を前に学校の先生より『君は次男なんだから』採用地はどこでもいいです。』と答えなさい。」

と言われました。こちらでは、長男の方は関東信越局など、地元に残ることが多いようです。

東京に採用されてから、船橋にある税務大学校東京研修所で1年3ヶ月間の研修を経た後、品川税務署を皮切りに川崎南、緑、藤沢など、神奈川県を中心に各税務署を経て、平成13年、荻窪税務署に赴任されました。

知人の紹介で一目惚れだたという奥様と33歳で結婚。奥様の買い物には必ずつきあうようにしているという愛妻家です。

また、4歳になるお子さんはかわいい盛りで、「休日には子供と一緒に過ごしますね。今、子供の耳の調子が良くないものですから、毎週土曜日には近所の耳鼻科に通っています。日曜日は公園で遊んでいます」と、家庭を大事にするよきパパでもあります。

苦勞が足りない!?

梅津統括官いわく、人に対して怒ることが、ほとんどないですね。怒り方も優しいから、相手は気づかないかもしれない」という温厚な田中氏ですが、気づかいの多い税務の仕事では、その分ストレスもたまるとはならないかとの質問に、「私は、同期生と比較して白髪が少ないせいか、前任署の先輩に『お前は苦勞が足りない!』って言われたんですよ(笑)」。税務署のなかでは、若い世代の人達と梅津統括官の世代のちよつと中間に当たる世代ですが、世代間のギャップはあるのでしょうか。

「今の若い人たちは氣質が違いますね。職場の人間関係が希薄になってきていると思います。私が職場に入ったころは、同期生で毎月少しずつ積み立てをして、新人(一期後輩)が入ってきたら歓迎会をしたりしていました。当時の先輩や後輩とは今でも交流があります。」

かつては、一期上の先輩を見て仕事を自然に覚えるというのが当たり前でした。そういう先輩の姿とともに後輩への指導が次の世代に受け継がれてきましたが、今は新人が毎年入ってくるわけではないので、新人と指導する人との年齢差が生じています。

「我々の職場に限らず、今の社会全体に言える事なのかも知れませんが、言われたことはやるが、それ以上のことはやらない作業人的な人が増えてきているような気がします。」

私は『仕事に厳しく、暖かい上司』に

適正な納税義務の履行のために

育てられた結果が、今日の自分があるのではないかと考えています。ですから、若い職員は国税の組織のこれからを担う人財ですから、その人達に、良き伝統をしっかりと受け継いでほしいと思いますし、また、私たちが受け継がせなければいけないと思います。」

100回を超す講演を続けるなか、時代とともに国税の職場のO.Aも変わってきました。ワープロの時代からパソコンに変わり、資料が作りやすくなつたこと、インターネットでデータなども取りやすくなつたことが挙げられます。

「以前は、改正税法は3月末に国会で成立し、数日後に官報で我々の手元に届くのですが、官報には条文しか書いてありませんので、納税者の皆様からのご質問に答えられるように条文を自分で解釈するには大変苦勞しました。今は国税局のWANがありますので、比較的改正内容の情報も以前と比較すれば、早く手に入られるようになりましたね。」

税法は複雑でわかりにくいことと言われていますが、税法を納税者の皆様に理解していただくように説明等をして、適正な納税業務を履行できる環境作りにも今後も努力していきたいと思ひます。」

講演の今後ますますの充実ならびに田中氏の活躍を期待いたします。

第30回源泉部会総会

源泉部会の第30回の総会

と30周年記念式典が4月14日東信閣で行われました。第30回の定時総会には、荻窪税務署より来賓として宮本副署長、大西法人課税第2部門統括官、曾我法人課税第2部門上席調査官が荻窪法人会から水島会長が出席され、それぞれ宮本副署長、水島会長より祝辞が述べられました。総会は加藤副会長の開会のことばで始まり水島会長より皆勤賞と精勤賞の方たちへ賞の授与が行われ、保坂部会長のあいさつへと続きその後議事に入り第1号議案から第4号議案まで無事了承されました。

会員が従業員で組織されているので制約が多い、ぜひ理解をして欲しい。税務研修以外に社会保険、職安、区役所からも講師をお願いしている。

この度、30周年という歴史を刻むこの時期を、部会長として迎えることが出来たことは、大変光栄なことと皆様に感謝しております。

丁度10年前に、前部会長の住田さんから引継ぎ、部会長を御引受致しました。当初は前部会長のもとで大変良く纏まったこの部会を、私で維持出来るのかと不安でしたが、部会員の皆様そしてその企業の責任者の方々からのご協力とご理解のお陰により、何とか10年を無事に運



保坂房雄 源泉部会部会長

『感謝』

去る、4月14日東信閣に於いて、荻窪法人会源泉部会の30周年記念を開催いたしましたところ、荻窪税務署からは齋藤署長・宮本副署長・大西第2統括・曾我上席のご出席を頂き、また親会の法人会からは水島会長・松澤副会長・坂田副会長・住田副会長・宇田川副会長・小竹副会長そして各ブロック長のご出席を頂き、本当にありがとうございました。また署の歴代の担当統括様・上席様には暖かいお言葉頂き、そして何より先感激したのは元部会員の方々からの激励、お祝いの手紙などを頂、誠に感謝に耐えません。これも歴代の署の方々・部会員の方々が地道に、真面目な勉強会をとの事で築き上げて来た結果があったからの事だと思います。この周年行事にあたり現部会員の方々が約半年以上に渡り、各担当別にそれぞれを挨拶し、その結果多くの方々へ式典の運営、記念誌に對しお褒めのお言葉を頂き、良かったなと、私自身から喜んでいますが、これも部会員の方々の一致団結した和と努力の結果だと思います。感謝・感謝、大変ご苦労さまでした。これからも部会の為に尽くして行きたいと思っておりますが、皆様のご指導とご協力をお願い致します。本当にありがとうございました。

言ってきたのではないかと思います。

この10年間を振り返ると色々な事が有りました。段々と署の体制が厳しくなり、部会員との懇談が規制され、私は部会員が署の方々と面識をもつ事も大事な部会の要素だと信じ、色々交渉しそんな認められない部会なら無くしたほうが良いのではと相談までしましたが、受け入れられませんでした。しかし最近では徐々に緩和されつつあり部会にとつて良い方向にあるようです。

源泉部会は殆どの会員が従業員の方々に組織されている為に、時期や時間に制限される事が多くあります。各企業から貴重な時間をさいて参加していただいているのですから、皆様とそしてその企業に如何に役立つ研修会をと、幹事の皆様と話し合い、最近では源泉の研修だけでなく、社会保険・職安・区役所より講師をお願いし、税務研修の合間にこの様な研修会も行っています。また今後また私の希望ですがまたこの様な組織の為各企業に負担を掛けず、また部会員が研修会に参加できる様な環境を作っていく様に努力して行きたいと思っております。

この30周年を新たな出発点として、益々各企業そして部会員の皆様には有益な研修の場にして行かなければと思っています。その為にも署の皆様、親会の皆様そして各企業の責任者の皆様に今後益々のご協力とご理解を頂けるようお願いいたします。



荻窪税務署及び荻窪法人会源泉部会の皆さん



宮本副署長、大西第2統括官、曾我上席

住田前部会長が部会の重要性を推進。保坂部会長が活発な組織に。各企業の正当な発展に寄与。今後の活動を支援していきたい。



水島隆年 社団法人荻窪法人会会長

荻窪法人会源泉部会30周年おめでとうございます。昭和49年9月に発足し30周年を迎える今日まで、確実に活動を展開してきた歴代の部会長・役員・部会員の皆様の努力に心より敬意を表します。特に、住田前部会長が法人会の中で源泉部会の持つ重要な役割を認識し、活動基盤を整えるために尽力され、それを引き継いだ保坂現部会長が、着々と源泉部会を発展させ活発な活動を展開してきた努力は、国税の中に占める源泉所得税の重要性に対する使命感によるものと思いません。

また、荻窪税務署からは、研修の都度講師を派遣していただき、部会活動への適切なアドバイスをいただくなどのご支援をいただいていることが、源泉部会発展の大きな要因であると、感謝申し上げます。

わが国経済は、製造業を中心に一部業種に明るい兆しが見えてきたようですが、中小企業には実感としてそれを感じることができない状況が続いております。企業倫理への不信、各種ウイルス等の蔓延や食品の安全性にかかわる不安、国家安全保障についての考え方や、身近なところでも凶悪犯罪の増加等、様々な社会問題を抱え、企業経営の面では、年金を中心とした社会福祉関係予算の増大に伴う企業負担の増加は避けられず、私も法人会会員企業を取り巻く環境は、一層厳しさを増すことになりました。適正な源泉徴収事務を行うことが、社会の安定と各企業の正当な発展に重要な役割を担うことを思えば、源泉部会が活発な活動を展開することが、今後益々求められていきます。私も荻窪法人会としては、源泉部会の活動がさらに活性化するように、今まで以上に支援してまいりたいと思っております。

現部会長保坂氏の長年のご努力に感謝申し上げ、今後、40周年、50周年と希望に満ちた源泉部会であり続けますよう、部会員の皆様のご健康と各所属企業のご繁栄をご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。



齋藤淑人 荻窪税務署長

社団法人荻窪法人会源泉部会が、創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。源泉部会の皆様には、日常の源泉徴収事務はもとより、給与の源泉徴収や年末調整の確な実施等のご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

源泉部会は昭和49年9月に設立され、以後、源泉所得税の取扱い等についての研修会を中心に、税務知識の向上や部会員相互の親睦を図るなど各種の事業を開催し、積極的な活動を展開されてこられました。

この源泉徴収制度は、今やわが国の税制の基盤をなすとともに国家財政を支える大きな柱となっております。この源泉徴収制度が適正に運営されるかどうかは、ひとえに源泉徴収事務に従事されている方々に、この制度の仕組みや趣旨を十分に理解していただき、正しく法令を適用していただくことがとても重要であると考えております。荻窪法人会源泉部会ではこのことを十分ご理解いただいており、実践的な説明会・講習会を定期的で開催されていると聞いておりますが、こうした研修会などの積み重ねが適正な源泉徴収事務の履行につながり、さらには源泉部会の活性化に寄与するものと確信しております。

最後になりますが、荻窪法人会源泉部会の益々の発展と、部会員の皆様のご健勝と事業のご発展を心から祈念いたしますとともに、創立30周年を契機に源泉部会の特殊性を生かして充実した活動を展開されますことを期待申し上げます。お祝いの言葉といたします。

所得税は国の税制の基盤。 研修会の積み重ねが適正な徴収事務の履行につながる。

若い人がもっと参加して欲しい。

源泉部会は税を中心に勉強をする会ですが、社会保険などの研修も取り入れその範囲は広がりをみせています。会員企業の従業員の方や経理・総務に携わる方たちが集い、野外研修も活発に行われています。「1つ1つした連帯感」は救済の「コミュニティ」に必要なことだと保坂部会長は語っています。

vol.2
源泉部会座談会
gensenbukai zadankai / 2004

001 情報交換は勉強につながる

中山広報委員長：今日は本当にお忙しいところ申しわけありません。30周年、おめでとございます。

保坂房雄部会長：ありがとございます。中山：今日お集まりいただいた趣旨は、源泉部会の活動を会員の皆さんにご紹介していただきたいこと、今後の行き方、源泉部会とはこういう部会なんだということをお話していただきたいと思えます。いま源泉部会はいろいろな研修会をやっています。他の部会、委員会と違って、経営者ではない方が多い。法人会の部会の中ではちょっとスタンスの違う部会ですから、今やっというところも含めてお話をいただければと思います。保坂：基本的に私が部会長になったときからほとんど変わっていませんが、特に源泉という会ですから税の勉強ということ。税改正があったときに

は出席者も多いんですよ。行事をやるのによつちゅう税改正があるわけじゃないし、社会保険とかハローワークとか、労働保険など、そういうところから講師に来ていただいています。会である以上やはりある程度人数が集まらないと、そういうことで、範囲を広げてきました。間にはいろいろ楽しいこと、懇親会もやりますけれどもね。要は地元の会社の従業員の方が多いから、地域の輪として従業員の方々がいろいろ悩みを相談したりという場もつくりたいと思っています。中山：今、部会員数としては？若林紀恵副部会長：75社です。約80名。中山：いろいろな事を研修会でやられていますね。若林：もつともつと参加してほしいですね。実際に自分が必要なところだけしか出てこないとか。本当はプラスアルファがすごく必要だと思っただけ。勉強も大切ですけども、それ以外に

お互い知り合い同士になってちょっとしたこと相談できるとか、そういうことがすごく大切だと思うんです。前は、1泊で箱根で総会をしていたんですが、それがなくなってしまっ。その時は皆さんと一緒に寝泊りをするとお話がある。出て、何か親しくなると、後で相談とか出来るようになりますね。中山：コミュニケーションできますね。若林：ええ、「うちの会社でこうなんです、こういう場合はどうしたらいいでしょうか」と、ちょっと年いった人へ伺うということができたんです。そのほかに会員の交流としてポウリング大会とか、野外研修とかあるんです。なるべく参加してもらいたいと思っただけですが、なかなか参加者が少なくて。参加された方は「よかったです」と言っただけですが、時間がなくなるとか、それが寂しいところです。

中山：出づらいついなんです、会社として仕事に必要な研修であれば行ってきてという話になるんですが、そうじゃない、今の懇親だとかそういうところになってくると、やはり……。若林：少なくなります。中山：社員の方はやはり言いつらいつい分はかなり強いんじゃないか。保坂：あるんじゃないかな。だからそういうことに対して、できれば親会から補助をいただいて。確かに勉強には来るんだけど、ほかの人は仕事をやっていくわけですから。障害をできるだけ取り除いていかなければ、先ほども言ったように参加人数が少ないのではと思います。加藤 等副部会長：私は研修担当なので研修会の予定などを組んでいます。皆さん、仕事の合間を抜けて出てこれるわけですから、会社にとってプラスになる部分があればなかなか出ないと思います。研修会の勉強ならかな

【源泉部会 座談会出席者(敬称略)】

部会長 保坂房雄 (株)保坂彫刻工業所
 副部会長 若林紀恵 若林工業(株)
 副部会長 加藤 等 (株)ジミーフード
 副部会長 鎌田健二 日都産業(株)
 広報委員長 中山一昭 (株)ジャパンスポーツ
 広報副委員長 鹿野修二 ADLIVE(株)



保坂房雄



若林紀恵



加藤 等



鎌田健二



りの出席をいただけるんですが、レクリエーション関係になると減ってしまう。確かにそのとおりで仕方がないという面もありますが、そういったところで皆さんと仲よくなって情報交換があれば、勉強にもつながる。実際、私なんかは仲間の人たちにずうずうしく、わからないことはすぐ電話をかけて聞いてしまったりしています。私個人は大変助けられています。仲よくなればこそそういったことができるわけですから、会社のほうで理解していただけると、若い方でも出てこられるんじゃないかと思えますね。

中山…業務をそこでストップして出てくるだけでも気が引けるのに、なおかつ参加費の会費も請求しなければいけない。本当は会社として入っているから胸を張ってもらえばいいんですがね。鎌田健二副部会長…僕個人というか、うちの会社としてはそういう雰囲気はないので胸を張って出てくるし、この間も野外研修で川越のうまいウナギ屋に行くというので、「おれはウナギ食ってくるから」と笑。

中山…いいですね笑。

鎌田…次の日もウナギがどうだったとかちゃんとみんなに報告して、お金も全然抵抗なくもらっているの、あまり自分自身は感じることはないです。ただ、一般的に言えばやはりうちの会社みたいなのは特殊で。研修があるか

ら、みんなでボウリングをやるから「一緒に行く」とか誘ったりもするんです。普通非常にまじめな人だと仕事の中に多少お遊びの部分が入っていますので、そうなると思つらいつついるのかなと。そんなこと気にしないで楽しんだほうがいいと、いつも思うんです。それこそ想像で一般的にあるんだらうなと。それと、最初はやはり知らない人たちの中に入っていくから、そこへ入っていくのがなかなか入りづらいというのがあるんじゃないかなというのがある、みんなで声をかけて引つ張り込もうという話をしたことがありましたね。1回入ってしまったら、ああ楽しいなということで、人間関係ができることによってプラスアルファのやりやすさが出るのかということよりも、やっぱり楽しいから行く。先ほどの1泊研修なんかは1回行くこと裸になってふるに入ったり、すつと入っていきけるんですけれども、研修会を中心とした時間だけだとなかなかそこまでは打ち解けることができない。

中山…いま法人会の中でも、顔見知りがないから出づらいつつとか、プロック研修会に出づらいつつとかという話も随分あって、厚生事業委員会などで何とか打開したいという企画を立てています。源泉部会でも野外研修やボウリングなど、いろいろなアイデアを入れながらやっています、オーナーの

場合は自分で決めれば出てこられませんが従業員の方はそうはいきませんからね。最終的には法人会の会員のご理解がないとなかなか出づらいでしょっかね。保坂・源泉部会自体、経営者の方々の理解が必要です。30周年のときに言いました、経営者の方々の理解の上にあつての源泉部会ですから。「そんな会に入らなくていいよ、おれが入っているんだから」と言われたら終わりですから。これだけの歴史があるということからは、理解されている経営者の方がいるからつながつているということですよ。中山・その輪をもっと広げたい。部長が前からおっしゃっていたのは30周年に当たってご挨拶をされている中で、各企業に負担をかけないで部会員が研修会に参加できるような環境をつくっていくというの、そういうところですね。いま、参加するときの会費がありますね。それとまた別に部会費というのはあるんですね。

若林・あります。年間1万2000円で、それを全体の活動に使っているんです。ほかに特別に費用がかかる野外研修と新年会、それから総会の時だけ会費をいただいています。親睦のボウリングは、皆さんに出てきてもらおうということでは会費をとっていません。普通の研修のときは、会費とかはいただいていないです。前から比べると、総会の費用とか野外研修も大分少なくなつてきています。1人の負担を少なくしようということだと思えます。中山・考えてみたら、税務署の方が講師でやるブロック研修会の内容というのは、本当に実務レベルの内容が多いわけですね。そうするとブロック研修会の中でも、社長クラスよりも実務レベルの方に出てもらったほうが本当はいいですよね。それとまた別に、もう一回研修しないといけないことになるわけですね。



若林・源泉部会の場合は年間を通じて予定を組んで進んでいくんですが、地味なんですよね。営業とかは華やかな仕事ですけれども、会社にとつては経理、総務とかそういうのは普通に何事もなくて当たり前前、何かあったら大変なところなんですよね。気をすくく使っているんですが地味で目立たない仕事なんです。もっと自分のやっていることを会社で宣伝したらきつとまた違つてくると思うんですが、なかなか、私は皆さんの給料をこつこつに計算してやっているんですとか、そういう宣伝はあまりしらないと思つたんです。間違いないように間違いないように。年末調整でも、間違いがあつたら大変だからという感じで。ふだんでもそういう仕事をしている。皆さん同じ悩みとかは持っているんじゃないでしょうか。そういうときに出席して友達になれて、こつこつことが心配だけどというときにお友達に聞いたら、すくすくいいと思つたんです。

002 会社は理解を

中山・今お話を伺っていると、研修を一方的に受けるだけではなく、横のつながりがあつて初めていろいろスピーディーな情報とかが入ってくるし、確かにミスが許されないお仕事をやっていらつしやる方が多くて、そういう方のストレスだとかは実際かなりありますよね。ですから、そういうことも何とかしてあげたいという部会のお話だと思つたんですけれども。鎌田・職場の雰囲気というのはありませんね。例えば社長は法人会という活動自体を理解して、法人会に入って源泉部会にも加入しろということ（社員を）入れていても、周りの人が「何だよ、この忙しいのに」というのは、雰囲気としてあるかもしれないですね。中山・社長が出ていく分には、だれも文句は言えませんがね笑。鎌田・社長が出るのも、何だという人はいますからね。言葉には出さないまでも、雰囲気はわかるじゃないですか。保坂・本当は勉強会に若い人にも出てきてもらいたいと思つても、若い人はなかなか出てこられないというのはあるんじゃないかと思えます。若林・日にちを決めるときに、なるべく締めるときに合わないように考慮しています。大体お給料の締めだと10日前とか、月末のほうは忙しいから、外して決めたりしているんですけれど。中山・でも会社としては、本当に実務に携わる人たちが頑張ってくれないと困るわけですからね。若林・会社の損にもなりますから。中山・そこに力を与えていこうというのが、この部会ですよ。保坂・参加人数もちょっと多くなるかなど、フランス料理の食事会もやりました。そういうイベントに出たいだけければ、少しでもなじんでくれるのではないかなと思つています。中山・行けばあの人がいるというのであれば行きますけれども、全員初めての人ではなかなか出づらいですものね。中山・源泉部会の場合、研修会はいつても何時ごろやられるんですか。加藤・2時から4時です。保坂・研修会は大抵午後一番で始めて、2時間ぐらいで終わつて帰るといふこ

とでしよう。

中山：若い人に出てきてもらおうという秘策みたいなものはありませんか。

加藤：特に若い人は自分から行かせてくださいと会社で言える状態であれば大変いいと思いますが、一般的にはなかなか自分から言い出すのは難しいと思うんですね。若い方が実際に出てもらえれば、勉強会ですから現状でもそれなりの価値はあると思います。

中山：今までのお話からすると、まず親会のほうから皆さんに負担をかけないように予算を少しアップしてもらいたいというのが一つ。予算とは別の世界で、若い人たちが出てこられるような会社の雰囲気をつくってほしいと。親会の方々から自分の会社の雰囲気をつくってもらわないと、下からはつくれないでしょうね。総務・経理の方というのはそこに安心感を持っていますからね。そういう方々が本当に力をしっかり持つてくれるのが、会社としてはもっと強くなる一番大事なところなんです。そのご理解をいただきたくてということになるでしょうか。

保坂：結局そういうことですね。本当にはじめの研修会をやっていますから。中山：平均年齢は、お幾つぐらいですか。加藤：研修会のときは若い方が結構見えます。

鎌田：今の若い人って研修とかは結構出ますが、あまり人間関係を深くした

くない。僕も山登りをやるんですが、山の会に若い人が入ってこないんです。でも山に行ってみるといるんですよ。何で来ているかという、講習会があつて金を払って来ているんです。お客として。だから登りたいんだけども講習会は金を払って当たり前障りのない会話とかはするけれども、山岳会みたいなところに行くと、すごいウエツトな関係でやっていきますから。

若林：それは入りたくない。
鎌田：ええ、それが一般的にあるんじゃないかな。ポウリングのときでも、話をしている若い人がきちんとしてあまりだけない。全部じゃないと思うんですが、酒飲みに行つてべるべるになる若いやつはいないんですよ。オヤジたちはべるべるになるのに若い人はすぐしらつとして、乱れずに。あまり深くつき合いたくないようなところがあるんじゃないかなと思います。

中山：昔は嫌でも入つていかざるを得ない雰囲気がありましたが、今は嫌なら入つてこなくていいよという先輩たちも多くなってきたんじゃないですか。保坂：自分が嫌な面を見ているから、それを押さえつけるのが嫌だということもあるかもわからないね。

中山：部下をしかつてしまった時でも、最近はこのテーブルの上で終わつてしまふ、怒つたら怒りつ放しという世界があるんですかね。だから逆に若い人

たちが入れないというか。昔は、中間が無理やり若い人を引っ張り込んでいったような気がします。

003 プラスアルファを自覚する

若林：社内でもパソコンで言い争つて、大変なことになったりするんですよ。

鎌田：すばらしいな、言い争いができるなんて。チャットをやっているんですか。

若林：本社と工場の人とのメールでの言い争いになって、メールのみでの話なので文章がどんどんエスカレートしていつて、結局誰かが中に入つておさめることになりましたけれども、メールは書くが肉声では話さない、相手のちよつとした気持ちが読みとれないで、自分の世界にどんどん入つていつてしまふ。若い人は自分の時間をとても大切にします。皆と一緒に何かするより自分の時間を有効に使いたいと、普通の研修は2時間ですが、行事がある時は先に研修1時間、残りを行事に当てるので。後の時間は参加するより自分のことが出来るのでと云つて帰られた人が居ました。

加藤：若い方が実際にどうなのか私はよく知らないですが、初めてのところに出ていくのはなかなか大変だと思います。研修会だけ出ていけば済むのかもしませんが、経理みたいなことをたくさんメンバーでやっていらつし

やる会社は別として、それほど多くない人数でやっていらつしやるところは、実際にやってもこれでよかつたかどうか不安な部分があると思うんですよ。ほかの会社の方々がどうなんだろうというのは少しは気になると思いますが、そういった面で話ができる人が持てるというのは、若い方にとってプラスにはなるのではないかなと思いますね。ですからどんどん入つてきてくださればいいなと思いますね。

中山：出てきてくださいと言つていても、今の若い人たちの状況を聞くとなかなか難しいという気はしますね。そうすると、逆に親会の理解を深めてしまつたほうが早いということですかね。保坂：前は役員はこんなになかったんです。それで5人ぐらい増やしたんです。役員になると積極的に出てきていただけですから。いろいろ手は打つていますが、なかなか完全には実現してこないというのが現状です。

中山：今後の源泉部会に関しての方向性とかオーナーのご意見を聞きたいということでのオーナーの会を開くのはどうですか。それで実際に下の人は行きづらんだと。来てその後すぐ帰つてしまつので、行くんだつたら最後までつき合つてこいということをやつてもらえないだろうか、というふうな。保坂：それも一つの方法でしょうね。一番手っ取り早いかも知れない。

中山：若い人が出づらいつつのもあるし、出てこない、必要なところだけでいいのであれば、逆にトップダウンで全部出ると言わない限りは動き出さないのかという気はするんですが。

保坂：私も、この会に出てこいといえは最初から最後までいるのが常識ですからね。

若林：一度出て、横のつながりができて自分の仕事にプラスになつたと自覚しないと出てこないんだと思うんです。いろいろ知ろつとする気持ちがある人と、「このAというだけでいいわと思つて帰る人」と、プラスアルファがたまたま入ってきて、じゃあこの次も、という。そうすると休憩の時間にお隣の人と話していて、研修のことだけではなくてもその人にとつてはプラスアルファですよ、それをよかつたと思える人と、うるさいと思つた人と違いがあります。大きい会社の方は、社会保険の事務は担当の人がいますから」とか、「労働保険も違う」といつて出てこないといつことを聞きましたけど。

中山：でも、その担当の方が出ればいいですよ。

保坂：いやいや、だからいいですよ。担当じゃなくても自分が出てきて覚えればいいんですよ。意欲の問題だから。

004 総務・経理は会社の中枢

中山：総務・経理は、こつこつこつこつ

言つてはいけませんけれども、1+1=2じゃないといけない世界ですから。ある程度そこはちょっと性格的に違う部分でしょうか。

保坂：あるかもわからないね。あまり人の分野はやりたくない。

中山：まずいものもあるじゃないですか。それでちょっと聞きかじつてこれ違うんじゃないのと言われたら、言われたほうは、何だおまえ、余計なこと言つな」といつ話になつてしまいますね。

ただ、やはりそついつ若い人達の気持ちというか、従業員の方の気持ちを一番いまい理解されながら、何とかしてこつこつというのが法人会の中でもこの部

会しかないんですよ。オーナーだけいくら知識を持つていても、本当にその中枢になる総務・経理がしつかりできていなかつたら力が弱いですよ。

保坂：そついつこつこつに考えていただければ、会社から率先して勉強してこいといつことでもいいと思つんですが。

若林：総会もそつですよ。研修は出て、総会は出ない。仕方ないから、この人は帰つてしまつから代表でもら

う人にしましょうとか(笑)。出席はすつとよかつたりするわけですよ。精勤、皆勤とかいつ賞があるわけですよ。

保坂：その精勤とか皆勤とかも、皆勤だけでなく、出てきた回数によって商品を出したりしているわけですよ。

若林：総会のときに皆勤賞の代表にな

つてもらいますから出席くださいね」と前もつてお願いしておくわけですよ。鎌田：本人がなかなかこちらに入つてこないのは、会社の内部で遠慮しなければいけない部分があるからだと思います。ここまでの範囲が仕事なんだから、これ以上のことまでやつてしまうのは遠慮すべきだろうといつよつな。

中山：特に総務・経理の方といつのは、そついつつてくれるから安心して任せている部分があるじゃないですか。何でもかんでもバンバン使つてしまおうといつ人が総務・経理にいたらえらいことになつてしまつので。

若林：同病相憐れむ」といつことがあつたんですよ。私も病気をしたのでちよつと話したりしたら、そついつ人がいつばいらして。結局、神経を病んでいる方つて結構多いですね。考えていることは同じことが多いわけで、同じような病気になつていられる。そついつ話をつ聞くとほつとしたりして、ああ、じゃあ頑張ろう」といつ感じに。

中山：でもやはりそついつたポジティブに考えられる方ならいいですが、こつなつてしまつと、逆にそついつこつこつはしたくないといつ話になつてしまつ。若林：扉を開くのには大変ですよ。

保坂：扉を開く方法ですが、幹事なり役員になつてしまつと、みんなに適当に振つてしまつ。急に話せとかね。それも私は勉強だと思つています。幹事

になつた以上はある程度急に振られても話すとか、司会をやらせられるとか。男性だけではなくて女性にも、「じゃあ乾杯のあいさつをしろ」とか振つたことがある。人前で話すことも勉強してもらつたほうがいいのかなといつこと。そつやつてやらされると、ある程度なれてくるでしょう。

鎌田：ただ、やはりそこは従業員といつ人たちのので、嫌だといつのを無理やりやつていいものかどうかといつのは難しいですよ。ただ、今の若い人たちがだんだんこの部会の中心になつていつてもらわないと、部会自体はいま活発に研修とかをやつていられるけれども、それができなくなるよつになつたら困ると思つんです。オーナーが活動をしていられるのと、従業員が活動している源泉部会とは非常に違つといつか、難しいといつか。

中山：実際に研修会でそれだけ出てこられていられるといつことは、若い人たちも必要性は感じていられるわけですよ。

鎌田：そつですよ。ただ、例えばある程度お世話をするよつな部会の役員さんとか、そついつ立場まではやりたくないですよ。受け身で勉強したりとかといつのは自分のためにもなるし、勉強はしたい、自分の能力は開発しておきたいといつのはあります。

中山：オーナーにしてみれば、一生懸命勉強してきてくれよと。だけど、部会

の役員になって忙しくなってしまうたら困るよということも出てくるんですか。若林…いらっしやるみたいです。

保坂…講演の方は、署の方に本当に一生懸命やっていたと思います。「今回はこういう税改正があったのでその内容についてお話ししよう」とか。源泉部会の署の担当としては法人課税第2部門の統括官と上席調査官にお願いしていますが、お二方とも熱心に講師を務めていただいています。研修会では、署の方に気軽に質問や相談もできます。また、署の方も部会の皆さんが相談すると本当によく教えてくれます。だから、研修会でわからないところが忘れてしまったことがあっても、後日でも調べて教えてい

ただいているようです。こういったところも源泉部会の良いところだと思います。

005 地元の輪の活性化

中山…まだ法人会でありながら時間がなくて源泉部会に入っていない方もいらっしやるじゃないですか。特にご夫婦で仕事をしている方が行けないとか。法人会は入ったけれど、ブロック研修会も出られないみたいなの方も随分いらっしやると思いますよね。

保坂…でもこの間ある会で、源泉部会に入っている方と一緒にあって、「この会よりも源泉部会のほうがいいですねえ」なんて。うれしいですよ。

中山…今後この源泉部会がどうなっていくといいなと、そこら辺をまず部長のほうから、どうですかね。

保坂…どんなふうというよりも、今まで話したので全部尽きると思いますが、結局どの団体も同じなんです。法人会でも、出席率の問題だとか会員増強とかやっているけれども。私は基本的には勉強会もそうだけれど、やはり地元の勤めている方々が友達というか、そういう輪をいっばいつくってもらう会にしたいなと。勉強するのは当たり前だから、社長同士は知っているけれども従業員同士は知らないのではなくて、地元の輪をもっと活発化するといんじゃないかなと。

若林…そうですね、勉強でも一つのことをするのが当たり前という感じではなくて、勉強をしてもまた新しい発見とかあるので、業務をマンネリ化させずに飛躍していったほうがいいと思います。加藤…これから先になってくると皆さんが入れかわってくるのが普通でしょうから、若い方にはどんどん出てもらわないといけないんですが、どの会社もみんな1年単位で人が入れかわっているわけじゃないですから。研修は1年間単位で繰り返していますが、どうしても常に新しい人が入ってくるのでいわゆる初歩のところから始めなければならぬ。そういうところがマンネリにつながるかという危惧はある

んですが、その中でもう一度復習という感じで聞いていいたら、研修のほうはそれでいいのかなと私は思います。

鎌田…研修に関しては、もちろん源泉部会という名前なので源泉税を中心にした勉強会になるんですけども、最近社会保険とか健康保険、年金とか、労働保険とか、仕事として源泉税をやっているとは多分関連があるはずなんです。だからそういった話を広げているのはすごくいいなと思っていて。経理担当という方が多いんですが、僕の仕事は人事関係の仕事が中心なので、例えば人事制度のお話とか。

非常に経営に一体化してやらなければいけないような、なかなか参加している人のレベルというか、立場とか経験とか、仕事の担当とか違うと思いますけれども、関連するところでどんどん研修を…研修が一番中心の活動だと思えますからそれを充実させてきているので、いいなと。だからこの流れがまたこれからも続いていってほしいなと思います。人間同士の関係も部会の目的の一つだということを地道にPRしていくしかないのではないかなと思います。

中山…ありがとうございました。源泉という、会社で中枢の総務・経理に力を注ぎ込む一番大事な部会だと思えますので、ぜひますますのご活躍をお祈りしたいと思います。



着任とお別れのごあいさつ

7月は署の異動の時期にあたります。
1年間で移動される方、3年間で移動される方と
期間はまちまちですが、荻窪法人会に於いては
秋の特別研修会など役員会、ブロック研修会、各委員会、
各部会で大変お世話になりました。

着任される中村勝彦荻窪税務署長をはじめ
佐々木辰男副署長、山口悟法人課税上席調査官には
今後多くの研修会で講師をお願いする事になると思います。
ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



着任のあいさつ

地域に密着した
法人会活動に敬意

社団法人荻窪法人会の皆様方には、
ますますご清栄のこととお慶び申し上
げます。

この度の人事異動により、税務大学
校教育第一部主任教授から参りました
中村でございます。前任の齋藤署長同
様よりしくお願ひします。

社団法人荻窪法人会の皆様には、平
素から税務行政に対しまして深いご理
解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼
を申し上げます。

貴会におかれましては、昭和25年の
4月に発足し、昭和48年12月の社団化
という長い歴史と伝統のある名門法人
会であり、さらに会活動におかれまし
ても、役員、会員の皆様が一致団結し
て正しい税知識の普及や、納税道義の
高揚を図るのもちろんのこと、良き
経営者を目指す者の集まりとして、会
員企業の健全な発展を図り、地域社会
に密着した幅広い活動を積極的に展開
されていると伺っております。これも
ひとえに水島会長をはじめ役員並びに
会員の皆様の並々ならぬご努力の成果
であると心から敬意を評する次第であ
ります。

中村勝彦
新荻窪税務署長

さて、税務行政を取り巻く環境は、
経済の国際化、高度情報化の急速な進
展など、大きく変わってきております。

また、あるべき税制の構築に向けた
議論にも見られますように、国民の皆
様の税に対する関心は、ますます高ま
ってきております。

このような状況の下、私も税の執
行に携わる者といたしましては、社
会・経済の変化のスピードに遅れるこ
となく的確に対応し、適正・公平な課
税の実現を目指して、より一層の努力
をしてまいり所存ではありますが、この
ためには皆様方のご理解とご協力が不
可欠でございます。

税の良き理解者である社団法人荻窪
法人会の皆様方には、今後ともなお一
層のご支援、ご協力を賜りますよう、
お願い申し上げます。

結びにあたり、社団法人荻窪法人会
のますますのご発展と、会員の皆様方
のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念い
たしまして、着任の挨拶とさせていただきます。



適正かつ公平な課税の実現と
納税環境の整備のためにご協力を

社団法人荻窪法人会の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は、この度の人事異動により、法人課税担当副署長を拜命し、蒲田税務署法人課税担当副署長から参りました佐々木でございます。前任の宮本副署長同様よろしくお願い申し上げます。

荻窪法人会におかれましては、税務研修会を始めとした様々な研修会等を積極的に開催され、地域に密着した活発な事業活動を展開しており、厳しい経済情勢のさなか東法連の中でも会員数が増加している数少ない法人会と伺

い、大変心強く思っております。

税務行政に携わる私どもにとりまして、適正かつ公平な課税の実現と納税環境の整備のために、皆様のご理解とご協力が必要不可欠なものであります。

本年は、この6月から全国での運用を開始しております国税電子申告・納税システムについて、納税者の皆様のご意見を伺いながら、より多くの方にご利用いただくよう努めてまいりたいと考えております。

また、今年の4月から施行されております改正消費税法については、特に、新たに課税事業者となる多くの事業者に対して、自ら適正な申告ができるよう、消費税の仕組み等について周知等を図っていく必要があります。

荻窪法人会の皆様におかれましては、税務行政の良き理解者として、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、社団法人荻窪法人会のみならずのご発展と、会員の皆様方のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。



税務に関する質問等、
気軽にご相談を

荻窪法人会の皆様方には、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

私は、この度の人事異動により、田中審理上席調査官の後任として東京国税局調査第三部から参りました山口でございます。

法人会活動の一翼であるブロック研修会をはじめとする研修会では、貴会より感謝状を贈られた田中上席に劣らぬよう後任としての責務を果たすべく努力していく所存でございます。

また、皆様方の税務に関する質問等の窓口として気軽に相談していただけますよう努めますので、よろしくお願いいたします。

結びとなりますが、荻窪法人会のみならずのご発展と、会員の皆様方のご健勝並びに事業のご繁栄を祈念いたしまして、私の着任の挨拶とさせていただきます。

齋藤淑人 前荻窪税務署長

荻窪署を最後に退官 貴重な1年は大きな財産に

盛夏の頃、社団法人荻窪法人会の皆様方にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。私はこの度の人事異動により、荻窪税務署長を最後に退官させていただきますこととなりました。

荻窪税務署在任中は、水島会長をはじめとする役員並びに会員の皆様方から「ご支援」とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。皆様方とは、1年間という短い期間のお付き合いではございましたが、この間、法人会の多彩な事業活動を通じて、皆様方と親しく接する機会を得、貴重なご意見を拝聴できましたことは、私の大きな財産となりました。

特に、講師を務めさせていただきました、秋の特別研修会、女性部会の講演会など、大勢の会員の皆様の参加をいただき誠にありがとうございました。また、私自身も心地よい緊張感を楽しみながら話させていただきました。

この1年間は、荻窪税務署といたしましても、改正消費税法の説明や確定申告の休日開庁など難しい事務運営などの対応に追われました。特に改正消費税法の説明会におきましては、多大なるご支援を賜り改めまして御礼申し上げます。どうか皆様におかれましては、税務の良き

理解者として、従来以上に活発な法人会活動を展開され、荻窪法人会が

さらに飛躍されますようご期待申し上げますとともに、私の後任の中村勝彦新署長に対しまして、私に賜りました以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、社団法人荻窪法人会のみならずのご発展と、会員の皆様方のご健勝並びにご事業のご繁栄を心より祈念申し上げます。私のお別れのあいさつとさせていただきます。

宮本克己 前副署長

今後も荻窪税務署に ぜひお立ち寄りください

社団法人荻窪法人会の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私はこの度の人事異動により、当署の総務担当副署長を拝命し担当が変わることになりました。

昨年の着任以来、荻窪法人会の理事会をはじめとした数多い行事に出席させていただきましたが、あまり貢献できぬ間に1年が過ぎてしまいました。

役員会等で挨拶の機会や女性部会、ブ

お別れのあいさつ

「感謝状」は身に余る光栄 3年間お世話になりました

荻窪法人会の皆様方には、3年間本当にお世話になりました。

さて、私はこの度の人事異動により、北沢税務署に転任することとなりました。

今年の通常総会のような席において、「感謝状」をいただき身に余る光栄と、今でもただただ恐縮していると同時に、改めて身のしまる思いがします。

田中正明 前法人課税第1部門 審理上席調査官

水島会長をはじめとする役員の方々や会員の皆様方、野口事務局長をはじめとする事務局の皆様方には、これまでのご厚情に深く感謝申し上げます。

後任の山口悟上席に対しまして、私に賜りました以上のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、社団法人荻窪法人会のみならずのご発展と、会員企業のご事業のご繁栄を心より祈念いたしまして、お別れのあいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございました。

ロック研修で私の話す場を設けていただくなど、それぞれ昨日のこの様に思い出されますと同時に、私にとって本当に貴重な経験をさせていただきました。

また、活発な活動を続けておられる荻窪法人会の見識の高い役員の方々をはじめ会員の皆様と直接話しをする機会もあり、考え方や行動力など参考にさせていただくものを多くいただいたように思っております。

私は、本年からは総務課、個人課税部門、資産課税部門関係の仕事をする事となりますが、今後も同じ荻窪税務署に

おりますので、是非、立ち寄って色々な話を聴かせていただくとともに、今後も皆様の変わらぬご協力・ご支援を重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様からお寄せいただきました数々のご厚情に対し、深く感謝申し上げますとともに、社団法人荻窪法人会のみならずのご発展と、会員の皆様方のご健勝並びにご事業のご繁栄を心より祈念申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

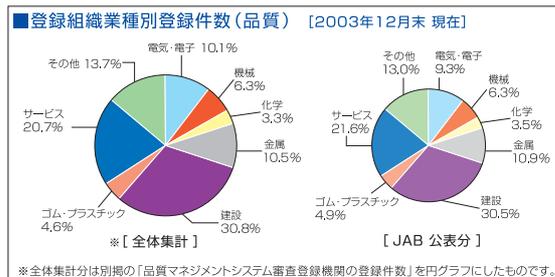
ISOって何？

“無形財産”反映した企業価値

最近「ISO」という言葉が頻繁に使われるようになりましたが、皆さん、どんな意味をご存知ですか？

この言葉は国際標準化機構(International Organization for Standardization)の頭文字をとって付けたものです。私達の生活の中では暮らしをスムーズにする為の多くの決まり事があります。いつもは気付かないけれどみんながその決まりに従って暮らしをスムーズにしています。世の中の流れは国際化に向かって進んでいます。そこで各国が話し合っ国際的な標準化が進められてきました。例えば、非常口のマークがあります。これは世界共通のマークです。また、最近ではチャイルドシートもISOFIXというものが出来て来ており、世界共通ですからこれ用の車であれば世界中ISOFIXで作られた物は使うことが出来ます。世界共通の約束事、それがISOです。ISOは製品を作る事だけに留まりません。品質に関する規格、環境(地球環境を守るための)規格 etc、ありとあらゆるものがあるようです。

ここで詳しい説明を荻窪法人会の会員であり、「審査登録機関」CQA(日本化学キューエイ株式会社)の審査部長をされている有限会社ケイツーエスの橋本洋喜社長にお願いします。



製品・サービス改善を主眼に

ISO9001の意味

ISO9001(品質マネジメントシステム)とは分かりやすく言えば、製品やサービスを買っていただくお客様に対し、品質的に満足できるものを提供する経営システムです。国内では2004年3月現在35485件の企業が登録されています。もともと製造業を中心にISO9001は利用されてきましたが、最近ではISO9001で求められる経営システムがどの分野にも応用できることから特に医療、物流、印刷などのサービス分野での企業の取得が盛んになっています。

このほかにISO14001(環境マネジメントシステム)もよく見かけますがこれは、企業活動の中で地球、国、町、地域住民等の関係利害者に対し、環境上の悪影響を減少もしくは緩和させるシステムということができます。その登録件数については同じく現在12670件ですが、まだこれからその数は延びていくものと思われる。

ISO駆使してこそ企業価値向上

ISO9001のメリット

私はISO9001のメリットとして「経営の標準化」と「企業の競争力アップ」の2つを考えております。「経営の標準化」: ISO9001導入により会社を運営する手順や、社員が仕事を進める上で手順が決められ整理されます。

また会社を続ける上で必要な「改善の仕組み」が会社全体に浸透します。社員

みずから改善することにより、経営者は社員を「口やかましく指導」する必要がなく、結果的に経営が楽になります。「企業の競争力アップ」: 物を売ったり、サービスしたりすることは、お客様がいて初めて成り立ちます。

経営で最も大切な「お客様の立場で考える」ことをISO9001では求めています。ISO9001では下請さんに仕事を発注するときでも、「ちゃんと評価された優秀な下請さん」に発注することを求めています。これはお客様の立場から考えても、いい加減な下請さんを使っているような会社とは取り引きしたくないと思うことから理解できることです。

またお客様から注文していただいた仕事の結果についてもISO9001では記録を残すことで、いつでもお客様の求めるものを提供していることを証明できるようになります。

以上のようなISO9001で求める内容を登録機関の審査員が審査し第三者に証明します。お客様は、忙しくて相手の会社を調査することができない場合でも、ISO9001の取得企業とは安心して取引することができます。

ISO9001導入に当たって

それではISO9001を実際に導入するにはどうしたらよいでしょうか。導入のステップ(段階)としては、次の3つのステップに分けられます。

ステップ1: 導入支援コンサルタントによる指導

ステップ2: 審査登録機関による審査及び登録

ステップ3: 登録後年間定期審査によるシステム維持状況の確認

ここで参考までに申しますと、3つのステップそれぞれ費用はかかりますが、この費用の多少は主に企業のISOシステムに関係する人数によつて変わってきます。導入に当たって会社規模と業務内容を良く理解し、会社に多大な負担をかけず、運用しやすく、しかも審査に耐えるシステムを作るようアドバイスする必要があります。

「ISO9001は書類ばっかり多くて大変だ」という声をよく耳にしますが、本来は書類を求めているのではなく、お客様に安心して取り引きしていただく為に証拠となる書類記録を求めているのです。それぞれの会社にはそれぞれの特徴がありますので、分かりやすく使いやすいISO9001を導入すればそういった声は聞こえなくなることと思います。

ISO9001を

「車」に例えてみましょう

最初の導入時点では、どうしても立派で見栄えのいい「車」を求めがちですが、運転し始めて初めて大きすぎて運転しづらいことや、燃費が悪いことに気づき後悔することになりかねません。企業にあつたシステムがどうか登録前によく検討されることをおすすめします。また審査登録機関についても多くの機関があり、選択に迷うところですが、単純なコスト比較ばかりでなく会社にとって役に立つ機関かどうかよく調べられて決めていただくことをおすすめします。また東京都ではISO取得企業に補助制度もありますので検討されたいかがでしょうか。

安心をお届けする事が使命です!

Akira SAKAKIBARA



神原 昭

第17支部長

昨年4月より、第3ブロック第17支部の支部長のお役を拝命しております。(株)アーバンファミリアの神原昭です。私の支部は、荻窪駅の北口に在り、JRの線路・青梅街道・環状八号線に囲まれた三角地帯にあります。活動は、法人会だけの付合いではなく、白山神社・商店街・町会などの役員が幹部として活動をして頂いているので、大変な活気に溢れた支部です。

私はアメリカンファミリー生命保険会社の代理店を営んでおり、昭和50年より29年間この仕事一筋です。当社は保険の意義・あり方・仕組み等を生命保険会社のサイドではなく、お客様のサイドに立ってお世話をする事が仕事であり、安心をお届けする事が使命と考えております。お客様は、警視庁・日本全国の芸能実演家組合や共同組合・企業等を中心とした団体が、契約全体の90%以上を占めております。しかしながら、今求められている代理店は、地域に密着した、深く根を下ろした会社です。

私の荻窪法人会との関わりは、昭和60年頃からです。その当時は、仕事の関係で参加をしておりました。私自身の気持ちと行動の

変化として、厚生事業のがん保険制度推進員として始まった関係が、今では100%近く地域の事業や文化の活性化の為にボランティアとしての関係となりました。

第1ブロックから第5ブロックまでの法人会会員企業の中で、当社が厚生事業の「がん保険」制度として担当させて頂いている企業は、800社を超えております。その過程で本当にいろいろな企業の社長様たちと親しくお付合いをさせて頂いているうちに、異業種の交流として、同じ悩みを持つ経営者として、地域の活性化の為に奮闘努力をなさっている経営者の方々と知り合つ事が出来て、法人会の素晴らしさを知る事が出来ました。

これからもまだまだ本気でやれば面白い事が一杯ある法人会の活動を、支部長として組織委員会の副委員長として元氣一杯に楽しんで、早朝より晩遅くまで動き回る所存です。

子供やお年寄りにやさしい店を目指して

18 支部



塚本 忠光

第18支部長

Tadamitsu TSUKAMOTO

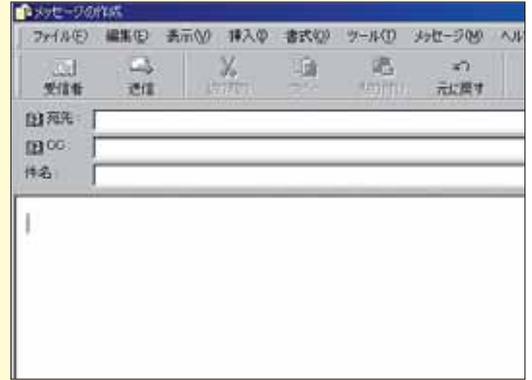
私は前任者及川様の後の18支部長を受けました、塚本忠光です。西荻南でコンビニエンスストアをしております。商圏内半径200mと限られた地域密着の商売をしています。始めた頃は大部分が若者達でしたが、5、6年前から年配者が多く来店されるようになりましたので、当店では子供、お年寄りにやさしい店をモットーに今日に至っています。

支部長を受け、一年間経ち、思います事は、第一目的で有りますが、会員増強で各企業を訪問しますが、ご理解得られずなかなか成果が上がらず、入会した企業は支部員皆様の推薦によるものでした。今年も支部員皆様の協力を願って前年の倍増を目指したいと思っています。また、会員の方で各研修会や講習会に不参加の方には、会費を払っているだけでは入会しているメリットが有りませんので、出来るだけ各事業に参加を呼び掛けたいと思います。

微力ではありますが会の為に努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

インターネットの利用法

[メッセージ作成の画面]



【Eメールをやってみよう... その2】

前回は「電子メール(Eメール=E-mail)」に挑戦しました。

どんなものでも使おうとすると、最低限必要なルールや手順を覚える必要があります。特にパソコンの場合は、覚えてしまえば「なんだこんなことか!」と後で思えることが、初めの内は何か難しいことのように感じられます。特にパソコンの文字入力には必須の項目なので、十分に練習する必要があると有ります。日本語、英語と入力できるようになると楽しさも広がります。そこで今回は意外と出そうで出ない記号や、略語の意味を探っていきたいと思います。マイクロソフト・ウィンドウズパソコンを基本に進めます。前回同様、景子さんと、広報委員会ホームページ小委員会の上田がご案内いたします。

変わった記号の出し方

メールアドレスの基本をまずは思い出してみましよう。もちろん「ひらがな」「漢字」は使えません。基本的に、半角英数小文字、および決められた記号しか使えません。メールアドレスに良く出てくる記号と言えば、「.(ドット)」と「@」(アットマーク)「.(ドット)」と言つことになりませんが、ちょっと出ずらい記号もあります。

景子さん メールアドレスで短い下線が有るわよね。

上田 結構有ります。

景子さん どうやって出すか分かる。

上田 キーボードのその記号をたけばいいんじゃないですか。

景子さん そうね。じゃあ出してみて。

上田 短い下線だから、キーボードの数字「0」の隣の「~」の横に「~」が有るからこれですね。

景子さん 実際にやってみてよ。

上田 半角英数にして、「~」を押します。

景子さん 「~」が出たじゃない。

上田 あれ! おかしいな。

景子さん 私が出してと言つたのは、「アンダーバー」のことよ。

上田 だってどこにも似たような

物ないですよ。

景子さん アンダーバーは「~」のことよ。

上田 どうやって出しました?

景子さん 何処見たのよ。

上田 あまりお美しいもので。

景子さん ばか言ってるんじゃないわよ。

上田 すいません。もう一度お願いします。

景子さん まずは文字入力を半角英数にするわよね。

上田 はい、了解です。

景子さん 次に「Shift」を押しながら「ひらがなの」を押して「~」を出さない。

上田 おおおー! これはまさしく「~」だ。

景子さん 覚えるしかないけどね。

上田 そう言えば、時々上のほうに波の形をしたのがありますよ。

景子さん よく「ニョロ」と言っわね。

上田 それも教えてください。

景子さん 謙虚でよろしい。

上田 さっきと同じでキーボードの「0」のキイにある波の形では駄目なんですか。

景子さん 実際にやってみたら。

上田 あれ! 半角英数にしたのに何も出ません。

景子さん ちょっと不思議よね。

上田 どうするんですか。

景子さん ニョロは、半角英数にして「Shift」を押しながら

「ひらがなの」を押すの。場所は「0」の隣の横に「~」が出ました。

上田 なるほど「~」が出ました。

景子さん 今のは半角英数で出したけど、日本語入力のままでも実は出せるの。

上田 最初からそう言ってくればいいのに。

景子さん なに言ってるのよ。最初は基本が肝心でしょ。

上田 すいません。どうやるのですか。

景子さん じゃあ教えてあげるけど、日本語入力のままさっき同じことをすればいいのよ。

上田 そんなー!

景子さん まずはやってみなさいよ。

上田 はい、はい。あれ? 「~」が出ました。

景子さん 日本語入力ですと大文字になるのよ。

上田 と言つことは、変換で小文字にすればいいと言つことか。

景子さん なかなか鋭いじゃない。

上田 まあ、たまには。

メールアドレスに必要な記号としては、この二つを覚えれば大体大丈夫だと思います。次にO E(アウトLOOKエクスプレス)のメール新規作成の中にある略語についてどういう意味なのか探ってみましよう。

メッセージの作成画面を立ち上げると「送信者」「宛先」「CC」「件名」の順に左側に項目が並んでいます。「送信者」はもちろん自分のことです。「宛先」はメールを送る相手のメールアドレスになります。
では「CC」は为什么呢。

景子さん 新規にメールを作成する時、分からないことがある？」

上田 そう言えば、「CC」と言う欄があるんですけど何ですか。」

景子さん 何だと思う。」

上田 コカ・コーラじゃないし。」

景子さん なんでメールにコカ・コーラが出てくるのよ。」

上田 何だと思うと聞かれたから思いつたままに言っただけですよ。」

景子さん もうちょっとまじなこと言いなさいよ。」

上田 では……。」

景子さん 教えてあげるわよ。」

上田 有難うございます。」

景子さん 「CC」の一つのCは

「Carbon」の意味。」

上田 もう一つのCは、クリアーかな？」

景子さん 残念ながら不正解。」

上田 何なんですか。」

景子さん 「CC」の意味は「カーボンコピー」と言うことなの。」

上田 なんか変ですよ。パソコンでカーボンコピーなんて。」

景子さん 確かにそうね。でも何がこつ言つのよ。」

上田 ただのコピーと言う意味ですか。」

景子さん これは、同じ内容のメールを上にある「宛先」以外の人にも同時に送ることが出来る機能で、「CC」の欄に同時に送りたい人のメールアドレスを書き込めばいいの。」

上田 一斉同報送信みたいですね。」

景子さん まあ、そんなものね。」

上田 誰に送ったか分かっちゃうのかな。」

景子さん よいところに気づいたわね。この「CC」の機能を使うと、本来の宛先の人にもこの内容のメールが同時に誰に送られたかが分かるの。」

上田 同時に送ったけど、誰に送ったか分からないようにすることも出来るんですか。」

景子さん 出来るわよ。「宛先」の左にあるノートのような絵をクリックしてみてください。」

上田 あらら。アドレス帳が出てきた。」

景子さん 感心、感心。ちゃんとアドレス帳を作ったあるじゃない。」

い。」

上田 いちいち入力するのが面倒なもので。」

景子さん 理由はともあれ、出てきたアドレス帳を見てもらなさい。」

上田 右側に「宛先」「CC」「Bcc」とありますね。」

景子さん その「Bcc」が目的のものよ。」

上田 まさかブルーカーボンコピーとかじゃないですよね。」

景子さん ブーです。それはブラインド・カーボンコピーの略なの。」

上田 ブラインドと言えば、目をささげる物？」

景子さん 「ある意味合ってるけど、向こうが見通せないと言うことは、見えないと言うことにならない。」

上田 なるほど、そう言う事か。」

景子さん だから「Bcc」の欄にアドレスを書けば、受信者には自分の所だけにメールが来たように見えるのよ。」

上田 誰に送ったか分かっているのは送信者の自分だけ、ですね。」

景子さん 変ことに使わないでよ。」

メールを作成していると、いちいち本文の中に自分の名前だと電話番号だとか、毎回、毎回

書き入れるのは非常に面倒です。「メッセージの作成」を立ち上げると本文の中に自動的に記入される方法があります。それは、署名」です。

『署名』の作り方

OE（アウトLOOK・エクスプレス）の受信トレイを立ち上げ、一番上のメニューバーにある、「ツール」をクリックします。

出てきた一覧の一番下にある、「オプション」をクリックします。「オプション」をクリックします。

「オプション」と言うウィンドウにいろいろなタブがありますので、その中の「署名」タブをクリックします。

上から順に「署名の設定」「署名(S)」「署名の編集」と並んでいます。「署名(S)」から右側にある「作成」ボタンをクリックします。

「署名 #1」が選択され、次の段にある「署名の編集」の「テキスト」を選択します。

「テキスト」の右側にあるウィンドウにメールに自動的に入りたい住所や名前、電話番号とかメールアドレスを書き込みます。

記入が終わりましたら、「オプション」ウィンドウの右下にある「適用(A)」のボタンをクリック

すれば、次のメールから今設定した署名が本文に自動的に記入されます。

さきほどの「署名の編集」の「ファイル」を選んだ場合、「メモ帳」や「ワード」等であらかじめ署名等のファイルを作っておき、「マイドキュメント」等に保存しておきます。

「署名の編集」の「ファイル」の右にあるウィンドウにそのファイルの場所を指定します。これで「署名の編集」の「ファイル」の場合の完成となります。

「署名の編集」の「ファイル」で指定するところの良い点は、かなり長い署名や絵などを編集する際に、全体が見渡せバランスをとりやすいことと、そのファイルの中身を編集しなおすと、そのまま「署名」に反映することです。

ホームページ

(HomePage=HP)を見てみよう!

荻窪法人会ホームページ

<http://www.ogikubohojinkai.jp>

電子メール

(E-mail=Eメール)を出してみよう!

荻窪法人会アドレス

ogiho@ans.co.jp

平成16年度税制改正

中小企業の事業承継 ベンチャー投資

税制面からの配慮がなされる!

平成16年度改正においては、中小企業関係税制について、同族株式の相続税の課税価格の軽減特の拡充、非上場株式等を譲渡した場合の税率引き下げ等の配慮がなされています。今回は事業承継およびベンチャー投資に関連する内容について説明してみます。

1 中小同族株式の相続税の課税価格の軽減特例の拡充

今回の改正により、「特定事業用資産についての相続税の課税価格の計算の特例」のうち、中小同族株式の相続税の課税価格の特例の対象となる中小同族株式等の価額の上限が10億円(改正前3億円)に引き上げられることになりました。

これにより、同族会社の発行済み株式等の総数の3分の2以内(10億円を限度)の部分については、その株式の相続税の課税価格が10%減額されることになりました。

同軽減特例を受けるには以下の3つの適用要件をすべて満たす必要があります。

適用要件

- [1] その同族会社の発行済み株式等の総額(相続税評価額)が20億円未満であること。
- [2] 同族関係者の持ち株割合が50%超であること。
- [3] 被相続人の親族である相続人が引き続きその同族会社株式を有し、かつ、役員としてその会社の経営に従事していること。

この改正は、平成16年1月1日以後の相続または遺贈(相続時精算課税にかかる贈与を含みます)により取得する財産にかかる相続税について適用されることになりました。

【参考】

「特定事業用資産についての相続税の課税価格の計算の特例」の内容

この特例には、以下の3種類があり、納税者の選択適用となります。

また、選択した特例の適用部分はその特例の上限に満たない場合、その満たない割合分まで他の特例との併用が可能です。

〔1〕小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例

次の宅地等の課税価格が減額されます。

事業用の宅地等(事業継続:400㎡まで80%減、その他:200㎡まで50%減)

居住用の宅地等(居住継続:240㎡まで80%減、その他:200㎡まで50%減)

〔2〕取引相場のない株式等の相続税の課税価格の減額措置

特定の中小同族会社の株式の課税価格を10%減

〔3〕森林施業計画区域内の山林の相続税の課税価格の減額措置

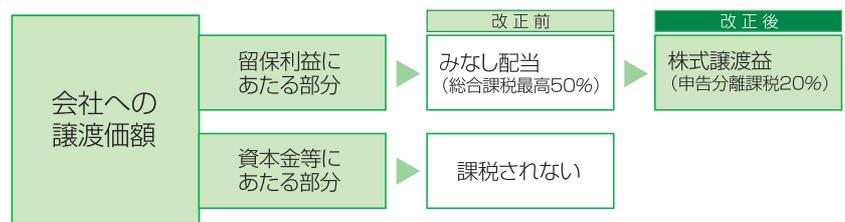
森林施業計画に基づき施業されている立木または土地等を5%減

2 相続した非上場株式等を発行法人に譲渡した場合のみなし配当課税特例の創設

今回の改正により、相続で取得した非上場株式を相続税納付のため、その発行会社に譲渡した場合、留保利益にあたる部分についてみなし配当課税は行われず、譲渡所得課税の対象とされることになりました。

この取り扱いは、相続税の申告期限後3年以内の譲渡に限ります。

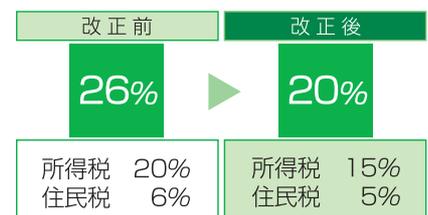
この改正は、平成16年4月1日以後の相続等により取得した非上場株式を同日以後に譲渡する場合に適用されることになりました。



3 非上場株式等を譲渡した場合の税率の引き下げ

今回の改正により、ベンチャー投資や事業承継にも配慮し、非上場株式等を譲渡した場合における譲渡所得金額にかかる税率が以下のとおり引き下げられることになりました。

この改正は、平成16年1月1日以後に行う株式等の譲渡による所得について適用されることになりました。





第47回簿記講習会修了式
河又雅之 研修副委員長

山本哲郎先生を講師にお迎えした、全14回の講習会

平成16年6月1日、東京税理士会荻窪支部会議室において第47回簿記講習会修了式が執り行われました。

全14回の講習会は税理士山本哲郎先生を講師にお迎えし、36名の会員企業の方が参加しました。修了式には役員・生徒26名が出席され、八方研修委員長の司会のもと、住田副会長の挨拶の後、修了証および記念品の授与が行われました。

その後、山本先生より、講習会を修了してと題してご講話をいただき、今後の試験に全員が合格していただきたいという励ましのお言葉を頂戴しました。また、出席した生徒全員からは山本先生への感謝とともに、

受講が今後の仕事のプラスになるだろうとの感想が述べられました。今回の講習を通じて、生徒の皆様のさらなる能力アップを期待してやみません。

研修シリーズ修了式
河又雅之 研修副委員長

323名の方々が参加した研修シリーズの修了式

平成16年6月23日、荻窪法人会2階会議室において平成15年度研修シリーズの修了式が行われました。

八方研修委員長の司会により、住田副会長の挨拶、ご来賓の荻窪税務署副所長宮本克己様、法人課税第一部門統括官梅津修様のご挨拶をいただきました。

そして今回の研修講師をされた指導上席田中正明様も出席され、皆勤賞15名、精勤賞6名の方に記念品が授与されました。今研修シリーズは法人税の基本、申告書の書き方など平成15年10月7日から平成16年6月23日まで全8回が実施され、延323名の方々が参加されました。講師をされた田中正席に感謝申し上げます。参加者には研修で修得した知識を今後の職務に活かされるよう祈念致します。



青年部会第30回総会
松澤和洋 青年部会副部会長
岡博之 幹事長

青年部会第30回総会が東信閣で開催

平成16年4月22日、青年部会第30回目の総会が東信閣で開催されました。

ご来賓として齋藤署長様をはじめ、署幹部の方々との親会の水島会長、小竹副会長にもご出席いただき、総会に花を添えていただきました。

全ての議案が原案通り承認され、新たに「名誉会員」制度が規約に加えられました。総会の後には懇談会が催され、新しく名誉会員にいられた先輩方からごあいさつをいただきました。今回の総会は50名を超える方にご出席をいただき、大盛会のうちに終了いたしました。



矢澤青年部会長



青年部会の皆さん

青年部会 そば打ち道場
成瀬雅人 広報委員
鈴木千鶴 渉外委員

北東製粉そば打ち道場にてそば打ちを体験

平成16年7月2日、池袋の北東製粉そば打ち道場にて、そば打ち体験をしました。宇田川・小竹両副会長をはじめ



そば打ちをする青年部会・女性部会の皆さん



め、多くの賛助会員の方々にも出席をいただき、女性部会と合同での例会を行いました。ほとんどの人がそば打ちは初めてだったようで、楽しく経験することができました。懇談会では、豊島法人会の方のお骨折りにより、そば処ちぶさんにて自分たちの打ったそばも食べることができ、女性部との親睦も深めることができました。



おおるり草津一泊旅行

三田恵子 女性部会会計

最高のお天気に恵まれ、時の立つのも忘れた楽しい一時。

6月17日、18日は梅雨時で、しかも台風5号が来ているニュースの中心配しておりましたが、お陰様で早朝から最高のお天気に恵まれ、一同8時30分池袋に集合し、おおるり専属名ドライバーの大型バスに揺られ、12時20分頃無事到着。

さつそく9階の部屋へ案内され一服した後、40軒もあろうかと思う商店街に出かけました。温泉饅頭の出来立てを頂きながら湯畑などを見物。西の河原へと足を運び一望に湯の沸き出る景色の中、足湯で一息。カメラに向かつて思わずニッコリ。皆さんとっても満足して下さった様です。

部屋に戻り、思う存分温泉に

つかり、夜は個室にカラオケ付きでお食事が用意され、適当に一杯頂きながら合唱したり、時の立つのも忘れ、本当に楽しい旅行でした。ご参加下さいました皆様お疲れ様でした。

今後何かと楽しいプランを計画していきます。皆様より多くのご意見などをお待ちしております。

第28回総会

井野場よ志子 女性部会長

杉並会館において第28回総会が開催された。



齋藤 務 齋藤 務 署長

4月13日、杉並会館において第28回総会が開催されました。

荻窪税務署からは、齋藤署長をはじめ宮本副署長、梅津第1統括官、田中審理上席、また、親会からは松澤副会長、宇田川副会長にご出席いただきました。新会員の紹介や松澤副会長等のご来賓のあいさつをいただき、総会は無事終了しました。

その後、齋藤署長に、相続税に

ついでという演題で講話をいただきました。興味のある内容に、会員は皆熱心に聴き入っていました。そして、懇談会の部では宇田川副会長の乾杯で歓談がはじまり、新会員を含めて親睦を深めることができました。

古切手送付のお礼状

井野場よ志子 女性部会長

女性部会を中心に会員企業の好意により使用済み切手や書き損じ葉書を集めて、周辺地域の福祉向上を目指す。

法人会の女性部会を中心に会員企業の好意により使用済み切手や書き損じ葉書を集めてきました。

今回3月に送付先である財団法人東京カリタスの家から法人会宛礼状が届きましたので報告させていただきます。

財団法人東京カリタスの家は家族福祉相談機関として東京及びその周辺地域の福祉向上を目指して問題に直面している家族への福祉サービスを行うことを目的とし組織されたものです。

皆様のご協力ありがとうございました。今後共よろしくお願いたします。

「ご協力者の皆様へ」

花の便りのニュースに季節の移ろいを感じる今日この頃、皆様方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

日頃は使用済み切手、書き損じ葉書等をお送りくださり、誠にありがとうございます。

皆様のご協力で深く感謝し、下記のとおり2003年度の収益報告をさせていただきます。

下記のとおりでございますが、Eメール通信の爆発的普及等の影響もあるのか、古切手の集まりが悪くなったとお便りも多くなりました。

そんな中、友人、知人にお声をかけてくださったり、今は亡き方が集めておられた貴重なご収集品を送ってくださる方、又、新品切手を寄付くださるなど、送ってくださる方々のお心のぬくもりを感じながら、感謝のうちに切手の整理をさせて頂いております。本当に有難く、その都度お礼状を差し上げるべきところ、経費削減のため、心ならずも2回目からのご送付につきましては、このページを借りまして、御礼の言葉を述べさせて頂くことをお許しくださいませ。

皆様から送られた書き損じ葉書、年賀状等は新しい葉書また

は、通常切手と交換して事務通信用に、古切手は整理して、業者に買い取ってもらい、収益金は家族福祉相談活動費用に当てさせて頂いております。

皆様の温かいご支援に深く感謝いたしますとともに、今後とも何卒よろしくご協力くださいませ。よろしくお願ひ申し上げます。

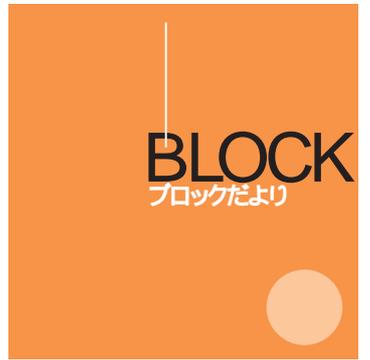
なお、テレホンカード、乗物カードも集めております。それ以外のカードは集めておりませんので、あしからずご了承くださいませ。

(カード類の2003年度収益は157,087円でした) 敬具

財団法人 東京カリタスの家 使用済み切手係

記

収益	1,330,796円 (前年度 1,342,561円)
受付件数	1,160件
書き損じ葉書等	1,985枚



第1ブロック 歩け大会

木山濃美 第4支部長

天候に恵まれ、
これ以上ない歩け大会

平成16年4月3日開催。天候の定まらない日が多い4月初めに天候に恵まれ、これ以上ない歩け大会の日になりました。

西武新宿線井荻駅にて集合して井口（一）さんの先導で環状8号線を歩き石神井川の桜満開の遊歩道を歩き石神井川の水の綺麗さには感動でした。都内にこんなに綺麗な川があったのかと改めて認識することになり、子供たちは河川でザリガニを獲り、田舎であった光景と重なってしまいました。

石神井公園から三宝池を廻り他の花見客と一緒に多勢の人が桜を楽しんでいました。車で通るだけの石神井川から新しい発見をしましたし、身近な所

での良さを再確認しました。53名の参加を戴き昼食は、普段着の会話もはずんで一日楽しい日が過すことが出来ました。又、年一回の歩け大会を予定しておりますので沢山の御参加をお待ちしております。



石神井公園で記念撮影の第1ブロックの皆さん（写真提供:葛和洋子 厚生事業委員）

第1ブロック ゴルフ大会

大田順一 第2支部長

恒例の親睦ゴルフ大会、
天候にも恵まれ、素晴らし
いコースで開催

【平成16年5月19日 開催】

5月19日、埼玉の太平洋クラブ江南コースにて、恒例の第1ブロック親睦ゴルフ大会が行われました。当日は天候にも恵まれ、自然に調和した素晴らしいコースで18ホールの戦いが熱く繰り広げられました。池や自然林と戦略的なコース設計に、皆さん苦労しながらも楽しくプレーを終りました。

待望の成績は、第2支部が、昨年度優勝の須田支部長率いる第5支部を僅差で押さえ優勝、個人優勝もハンディを見方につけた第2支部長（実は私です）が頂きました。

第1ブロックは各支部ともメンバリーのゴルフの層も厚く戦いは真剣ですが、実は支部間の仲がとてよく試合後のパーティーでは、皆さん勝負の時とは一変和気藹々とした雰囲気です。締め、今年のブロック対抗ゴルフも優勝するぞ！の掛け声で1日を終わりました。

最後になりましたが、事務局、ゴルフ場、幹事の皆様、当日を楽しく無事に終えることができて、会を代表してお礼を申し上げます。



第1ブロックの皆さん 埼玉の太平洋クラブ江南コースにて

第4ブロック ゴルフ大会

加藤孝一 第4ブロック広報委員

第4ブロックの事業の一つとして定着してきた、
懇親ゴルフ大会

【平成16年6月2日 開催】

今回は7組28名の参加者を得て、6月2日ゴルフ日よりの富士レイクサイドCCにおいて行われました。

平成9年の秋に第1回大会を開催して、今回で14回を重ねることになるこのゴルフ大会の特徴は、なんとといっても第1回目からずっと参加者全員が1台のバスに乗って参加することです。

大会の幹事役、及川さんの思い入れで、プレーと懇親をより深めるために安心して参加できるようにとの配慮によるものです。朝の会食（おにぎり・お茶）そして好きな人にはプレーに支障をきたさない程度の適当なアルコール類、ワイワイ、ガヤガヤやっているうちにコースに到着という寸法です。

このところ青年部のみなさんの参加も増えて、力強いプレーも随所に見られます。今回の結果はなんと上位14位までの人がネット70台と高スコアをマーク。その中で大石剛生さん（こけし屋）がネット73・6で優勝、2位はこの大会最多優勝回数を誇る田中久運さん（有）（ウエーブ）がネット74・0で、3位は榊原昭さん（株）（アーバンファミリー）がネット74・2と僅差のプレーとなりました。また、クロスでは眞野 大さん（富士商会（株））が85で制しました。

プレー後の表彰式、パーティーも帰りの心配をすることもなく、安心して懇談をすることができました。次回は第15回大会で節目の大会！？になるのかな。帰りの車中は悲喜こもこも、それぞれのプレーを肴に大いに盛り上がったことは言うまでもありません。

お疲れさまでした。

第2ブロック 第9支部
支部役員交代のお知らせ

木村達夫 第2ブロック長

会員増強への期待高まる

暑い夏を迎えつつあります。この暑さは、8月を越して11月まで続きそうです。この長い夏を乗り切るため、当ブロックの各支部も会員増強の準備に入り始めております。今年は期待するぞー！？さて、第9支部にありましては、一部支部役員の交代を行いました。新しい役員は左記のとおりです。会員の皆様にお知らせいたしますとともに、今後ともよろしく願い申し上げます。

第2ブロック [新役員名簿]			
-役職-	氏名-	法人名-	所在地
-支部長-	上田仁士	(株)上田技術産業社-	西荻北3- 30- 9
-副支部長-	小俣榮一	(有)小俣商店-	西荻北3- 31- 16
-副支部長-	原-賢三郎	(有)栄屋金物店-	西荻北2- 11- 8
-副支部長兼会計-	稲澤 修	(有)日本ファクシミリ-	西荻北3- 3- 1- 302
-会計-	常磐山-勝-	(有)常磐山-	西荻北3- 19- 2
-幹事-	高橋 勇	(有)菊寿司-	西荻北3- 19- 3
-相談役-	西島敏司	(有)西島畜産-	西荻北2- 12- 4
-相談役-	高橋秀見	(有)清風園-	西荻北3- 19- 3
-支部組織委員-	渡辺雄一郎	(有)加賀原アートベリア-	西荻北3- 30- 13
-支部組織委員-	稲澤 修	(有)日本ファクシミリ-	西荻北3- 3- 1- 302



源泉部会の野外研修会

中田 茂 幹事

税務大学校へ！

5月18日、大西統括官のお世話で埼玉県和光市の税務大学校見学、昔の税金について学習。

バス中、加藤副部長から「税金クイズ・諸控除について」研修、全問正解者市川さんに保坂部長より豪華賞品授与。

お昼は「いちのや」のおいしいなぎに舌鼓。お祭り会館、菓子屋横町、時の鐘等、小江戸川越の伝統を満喫してきました。



時の鐘



野外研修に参加した源泉部会の皆さん



菓子屋横町

会員アートギャラリー



Art gallery

作品募集

あなたの作品をWEBギャラリーや広報誌で発表してみませんか。趣味でやっている俳句・写真・絵画等の作品がございましたら事務局までお寄せください。

社団法人 荻窪法人会事務局

〒167-0032 東京都杉並区天沼3-7-3
TEL:3392-1338 FAX:3391-8388
e-mail:ogijho@ans.co.jp



【写真提供】

第1ブロック 第2支部
(有)中江 中江 司 様